



### 市民が参加するやさしいまちづくりの推進について

井上 八重子 議員 (ネット)

#### 在宅生活を支える地域医療体制について

①高齢者の在宅生活を今以上に充実させるための考え等を伺う。②医療制度改革で在宅療養支援診療所が新たに創設されたが、区内の支援診療所数は。また、今後どのような「かかりつけ医制度」を推進していくのか。

#### 福祉高齢事業部長

①共助活動としての地域での見守り体制の拡充と、保健・福祉・医療の連携の強化が挙げられる。②現在区内では49の診療所が届出をしている。在宅療養支援診療所の体制の拡充を見ながら、今後とも医師会と連携するなどだ。

#### 障がい者のエンパワメントを引き出す支援について

①障がい者のエンパワメントを引き出す支援のあり方等をどのように考えているのか。②自立した生き方を尊重し、支援体制を充実させるために、訪問介護のサービスマスの見直し等は考えているのか。③障害者生活支援センターが機能するために、人材育成等の支援を。④障害者就業支援センターについて⑦発達障がい者も含め、利用要件の拡大を求めが見解等を伺う。①再訓練を可能にするよう、区は都に積極的な働きかけを。

#### 区長

①ケアマネジメントの中でそれぞれの実情に応じた多様な障害者福祉の情報を提供し、自己選択、自己決定できるように支援する。②提供時間は柔軟に対応しており、

全体のサービスマスの見直しは当面必要がないと考えているところだ。③さらに、仕事を通じた実践的な資質向上に努めるなどだ。④発達障害者への総合的な支援体制を整備する中で、就労支援についても検討する。⑤センターは委託訓練事業を何度も行う場所ではない。就労した障害者に対して職場定着の支援を継続的に行うなどが重要だ。



本多 健信 議員 (自民)

### 環境問題への取り組みについて

①品川区地球温暖化防止対策実行計画での、2007年度から2011年度までの5年計画の進め方等について伺う。また、計画に対する事業の執行等は。②CO2の削減について、これまで行政が率先して取り組んできたが、民間での取り組みの効果をどのように上げるのか。③熱中症の予防のためには、正しい知識を身につけることが必要だが、啓蒙について伺う。また、発症した場合の応急手当の方法等についても啓蒙が必要だ。④平成22年度から23年度では、可燃ごみ処理に負担金制度が導入される。各区は今後約10年間で区民1人当たり20%のごみ削減をめざすとされているが、品川区としての考えや進め方について伺う。⑤家庭ごみを減らすためのちよつとした工夫を、どのように区民に啓蒙していくのか。

#### 八潮地区に建設予定の(仮称)JR東日本東京資源循環センターについて

①センターに、品川区の家庭内から排出されるプラスチック製容器包装の中間処理施設が計画された経緯は。②1日の搬入量の見込みを7トンとしている根拠は。③施設の使用開始予定は2010年だが、回収量と計画量に大きな食い違いがあった場合、区は責任を問われることになるのか。④近隣の間処理施設より、処理費用が大幅なコスト増になった場合の判断は。

#### 環境清掃事業部長

①本年10月から区内全域でプラスチック製容器包装を資源回収する予定だが、その中間処理を安定的かつ確実に行うため要請したところ、JR東日本が建物の一部での受け入れを決めた。②当面の予測として、第2次品川区一般廃棄物処理基本計画での排出量をもとにした。③現在の予定数量とは異なる可能性があることの下理解を得ている。④近隣の処理施設等を参考に契約していくので、大幅なコスト増はつながらないと考えている。

#### 品川区指定文化財について

①区内の文化財といえば、大森貝塚や江戸の里神楽(間宮社中)等が一般的に知られている。現在区内の文化財は、国指定29件、都指定22件、区指定のものが136件ある。一般公開できる文化財について周知の方法等は。②ウオーキングの会や文化芸術団体等の活動とのタイアップへの取り組みや、今後、後世にすぐれた文化をどのように伝え、広めていくのか、方針について伺う。③地域の歴史的な文化資源の掘り起こしなど、今後の指定について所見を。④品川歴史館の機能を活用して出張展示を行うことや、歴史館の機能拡充について伺う。

#### 品川区指定文化財について

①区内の文化財といえば、大森貝塚や江戸の里神楽(間宮社中)等が一般的に知られている。現在区内の文化財は、国指定29件、都指定22件、区指定のものが136件ある。一般公開できる文化財について周知の方法等は。②ウオーキングの会や文化芸術団体等の活動とのタイアップへの取り組みや、今後、後世にすぐれた文化をどのように伝え、広めていくのか、方針について伺う。③地域の歴史的な文化資源の掘り起こしなど、今後の指定について所見を。④品川歴史館の機能を活用して出張展示を行うことや、歴史館の機能拡充について伺う。

#### 採択されて区長に送られた請願についての報告

区議会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

#### 品川区福祉タクシー券の拡充を求める請願

1. 視力障害2級を福祉タクシー券の対象にしてください。交付対象障害者を平成20年度より視覚障害1級から2級まで拡大し実施しています。2. 福祉タクシー券の枚数を増やしてください。福祉タクシー券の枚数増につきましては、現在枚数増の考えはありません。

#### 上大崎3丁目(最高裁判所・裁判所共済組合)旧みやこ荘跡地に関する請願

区としては今回の請願を受けて、最高裁判所へ同用地の動向について調査・照会を行ったところ、同用地は建物の除去が完了し、更地になった用地を裁判所が利用する方向で検討中とのことでした。裁判所で利用しないという結論に至った場合には財務省に引き渡すことになるということでした。区としては、引き続き同用地の動向については、注視しつつ、暫定利用とのご要望については、必要な調整を図っていきます。

#### 環境問題への取り組みについて

①品川区地球温暖化防止対策実行計画での、2007年度から2011年度までの5年計画の進め方等について伺う。また、計画に対する事業の執行等は。②CO2の削減について、これまで行政が率先して取り組んできたが、民間での取り組みの効果をどのように上げるのか。③熱中症の予防のためには、正しい知識を身につけることが必要だが、啓蒙について伺う。また、発症した場合の応急手当の方法等についても啓蒙が必要だ。④平成22年度から23年度では、可燃ごみ処理に負担金制度が導入される。各区は今後約10年間で区民1人当たり20%のごみ削減をめざすとされているが、品川区としての考えや進め方について伺う。⑤家庭ごみを減らすためのちよつとした工夫を、どのように区民に啓蒙していくのか。

#### 品川区指定文化財について

①区内の文化財といえば、大森貝塚や江戸の里神楽(間宮社中)等が一般的に知られている。現在区内の文化財は、国指定29件、都指定22件、区指定のものが136件ある。一般公開できる文化財について周知の方法等は。②ウオーキングの会や文化芸術団体等の活動とのタイアップへの取り組みや、今後、後世にすぐれた文化をどのように伝え、広めていくのか、方針について伺う。③地域の歴史的な文化資源の掘り起こしなど、今後の指定について所見を。④品川歴史館の機能を活用して出張展示を行うことや、歴史館の機能拡充について伺う。

#### 採択されて区長に送られた請願についての報告

区議会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

#### 品川区福祉タクシー券の拡充を求める請願

1. 視力障害2級を福祉タクシー券の対象にしてください。交付対象障害者を平成20年度より視覚障害1級から2級まで拡大し実施しています。2. 福祉タクシー券の枚数を増やしてください。福祉タクシー券の枚数増につきましては、現在枚数増の考えはありません。